

キッチンカーなどの飲食をはじめ、約20店舗が並びました

**ゆざわナイトマルシェ 開催!**

「ゆざわナイトマルシェ」(主催…湯沢町観光まちづくり機構)が越後湯沢駅東口アーケード街で開催されました。1月から3月にかけて計6回にわたり開催され、国内外から多くの観光客が訪れました。

このイベントは、宿泊しているお客様に夜間にも積極的に湯沢の街中に外出していただき、夜間における経済活動を活性化させることを目的に実施さ



れ、近年は越後湯沢駅周辺における飲食店不足対策も兼ねています。

また、野菜やお米、日本酒等の湯沢産食材が使用されたメニューを提供されるお店も多くあり、お客様へ地元産の魅力を感じていただく機会となりました。

3月7日(土)には、湯沢高原スキー場にて「冬花火」の打ち上げと「たいまつ滑降」(主催…湯沢スキー協会)も開催されました。当日は雪模様でしたが、ナイトマルシェを訪れた多くのお客様が、駅東口から夜空を彩る花火とたいまつ幻想的な灯りに見入っていました。

**越後湯沢駅東口の新名物「ゆざわ雪室汁」誕生!**

越後湯沢駅東口エリアの活性化を目的に活動している有志団体「Yuzawa East Club」が、越後湯沢駅東



口の新名物として、地元食材がたくさん使用されている豚汁「ゆざわ雪室汁」を企画しました。多くのお客様に訪れてもらいたい、湯沢の子どもたちに地元食材の魅力を知ってもらいたいという思いから誕生し、具材には、大根や雪下になじん、肉団子、白瀧酒造の酒粕そして、地域の輪・訪れた方々の輪が広がるようにという願いを込めて、輪の形が特徴の新名物「車麩」が入っています。

**日本酒テロワールプロジェクトが2期目を迎えました**

令和6年、さくらファームと白瀧酒造は、湯沢町初となる酒米「越淡麗」の栽培と酒造りに挑戦しました。そして今年、その取組は2期目を迎えました。手探りの中で始まった米作りと酒造り。試行錯誤を重ねながら歩みを進め、令和8年、ついにベースとなるお酒が完成。湯沢町の豊かな自然をイメージしたデザインと、「ネオ淡麗辛口」を目指し低アルコールでありながらも甘すぎず清涼感が特徴の一本です。

米・水・人。すべてが「オール湯沢」。湯沢町の自然と人の想いが、この一本に詰まっています。



夜空を彩る冬花火とたいまつ滑降 (湯沢高原の麓から)

3月7日(土)に開催されたナイトマルシェでは、みそ味とカレー味の2種類が販売され、訪れた多くのお客様が、地元食材の美味しさが詰まった温かい一杯を堪能していました。

特集

かわらばん

トピックス

情報

生活

学園

生涯学習・スポーツ

健康・医療

観光